

# 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口

平成 29 年 4 月 1 日現在

## <目 次>

概 要 .....	1
1 人口推移・増減 .....	2
2 連区別人口推移・増減 .....	2
3 連区別自然増減・社会増減・市内転居 .....	3
4 年齢(3区分)別人口推移 .....	4
5 連区別・年齢(3区分)別構成比 .....	4
6 5歳階級別人口推移 .....	5
7 連区別・年齢(3区分)別・男女別人口 .....	6
8 連区別・男女別平均年齢 .....	6
付録 連区別町丁名一覧	

経営戦略部 経営戦略室

## 瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口《概要》

平成29年4月1日現在

**総人口** 130,298人 前年に比べ0.3%減

平成29年4月1日現在の総人口は130,298人で、前年を378人(0.3%)下回り、7年連続の減少となりました。

**自然増減・社会増減** 自然増減461人減 社会増減83人増

この1年間の出生者数は828人で、前年を23人上回り、死亡者数が1,289人で、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は461人の減となりました。これは、昭和60年に自然増減の比較を開始して以来初めて減少に転じた平成18年から12年連続での減少です。

この1年間の転入者数と転出者数の差にその他の増減を加減した社会増減は83人の増となりました。

### 連区別人口増減

連区別にみると、自然増減、社会増減および市内転居の全てにおいて増加した連区は長根・山口、本地の3連区で、反対に全てにおいて減少した連区は道泉、西陵、原山台、萩山台、八幡台の5連区となりました。

**平均年齢** 46.5歳 男45.1歳 女47.9歳

平均年齢は46.5歳となり、前年と比べ0.3歳上昇しました。

連区別にみると、深川連区で55.1歳、品野連区で53.0歳、古瀬戸連区で52.9歳となり、平均を大きく上回りました。

一方、平均年齢が最も低い連区は菱野連区で42.9歳、次いで水野連区

『瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口』は、住民基本台帳をもとに集計したもので、毎年4月1日、10月1日を基準日とし集計公表しています。

で43.5歳となりました。

**年齢3区分別人口** 年少人口254人減 老年人口割合28.6%

年少人口(0～14歳)は前年より254人減少し、総人口に占める割合は12.8%で前年を0.2ポイント下回りました。年少人口の割合が最も高い連区は水野連区(16.7%)で、效範連区(14.8%)、西陵連区(14.5%)と続いています。また全ての連区で年少人口が老年人口を下回りました。

生産年齢人口(15～64歳)の割合は58.6%で、前年を0.4ポイント下回りました。生産年齢人口の割合が最も高い連区は菱野連区(65.6%)で、山口連区(63.2%)、長根連区、本地連区(62.0%)の順となりました。

老年人口(65歳以上)の割合は28.6%となり、前年を0.5ポイント上回りました。連区別にみると、老年人口の割合が最も高い連区は深川連区(43.1%)で、萩山台連区(41.3%)、八幡台連区(40.0%)と続いています。

※結果表等における構成比は、四捨五入した関係で一致しない場合があります。

※この冊子及び「連区別・年齢(各歳)別・男女別人口」は、瀬戸市ホームページに掲載されています。

平成29年4月

経営戦略部経営戦略室